

吉川市議会議員

安田真也 活動レポート

市議会議員 安田真也事務所

〒342-0038 吉川市美南4-25-43

TEL:048-945-0946 E-mail:shinya-yasuda@hotmail.co.jp



討議資料

暑い暑い夏も終わり、秋の香りがしてきました。

7、8月は県知事選挙や勉強会が立て込んでいたため、レポート発行が遅くなってしまいました。大変申し訳ございません。さて、市議会6月定例会は6月17日で閉会し、条例改正等の他、補正予算11億6052万7000円が計上されました。今回は6月定例会について主にお伝えします。

1日の中でも寒暖の差がある時節です、ご自愛下さい。

吉川市議会議員 安田 真也

補正予算11億6052万7000円 可決

主な事業

- ・児童館ワンダーランド修繕・ふるさと納税推進事業・中曽根小プール改修工事
- ・吉川美南駅西口駐輪場拡張・ムクドリ対策事業・毎日一万歩運動事業 など

・吉川美南駅西口モニュメント改良（修繕）

光の反射によって眩しいとの声を頂いておりましたが、予算付け・修繕着工にこぎつけることができました。制作者の同意も快く頂いたことからプロペラに薬剤を塗布することで反射を無くすよう改良（修繕）のはこびとなりました。



提出の意見書が全会一致で可決

私が会派自民・みらいを代表して提出しました「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」が定例会最終日の中で、**全会一致で可決**されました。

意見書の中身として、**ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費補助制度の創設**や、**肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準の緩和**を政府に求める内容となっております。

「自民・みらい」議員団視察 学童保育の充実に向けて

南部地域（中曽根・美南）の児童数増加に伴う、学童保育環境の充実についての視察を5月13日に「自民・みらい」議員団で行いました。当日は健康福祉部保育幼稚園課の担当者から南部地域の学童保育の現状を聞きながら、現地確認を行いました。本年度から学童対象学年が6年生まで拡大されたこと、南部地域は児童数が増加していることから、学童保育室の不足が見込まれます。**空き教室を活用しつつ、可能であれば小学校敷地内に学童を設置**できるよう議員団としても検討していきます。



安田真也プロフィール ～美南在住 DUAL 世代～

- ・昭和54年（1979年）岩手県花巻市生まれ
- ・岩手県立花巻北高等学校／獨協大学法学部
- 在学中、松原学院（現：総合学習塾マインズ）で時間講師
- 政治分野では、参議院議員 田村秀昭（元空将）事務所スタッフ
- ・衆議院議員 武山百合子 秘書
- ・さいたまコープ（現：コープみらい）勤務
- 「食の安心安全」について学ばせていただきました。
- ・大手人材派遣会社（京都支店長、関西営業課主任）勤務
- ・縁のある方にお誘いを受け、京都から吉川へ

家族：妻、子（0歳児）、柴犬
特技：「広島風お好み焼き」はプロ並みの腕前
オタフクソース株式会社お好み焼研修センター修了

- ・平成20年 吉川市議会議員選挙に初当選（当時28歳）
- ・平成22年 山田宏杉並区長、中田宏横浜市長とともに「日本創新党」結党
- ・平成24年 吉川市議会議員選挙に当選（2期目）
- 市議会会派「自民・みらい」結成
- ・平成24年 「日本創新党」解党にともない「自民党」に入党

現在の役職

- ・吉川市議会総務水道常任委員会 委員長
- ・江戸川水防事務組合議会 議長（構成団体：三郷市、春日部市、吉川市、松伏町）
- ・東埼玉資源環境組合議会 議員
- ・吉川市自衛隊父兄会 理事
- ・明治神宮崇敬会 吉川松伏支部 副支部長

その他

自民党



子育て奮闘中!!

否決 市長給与の特例に関する条例案

ほぼ全ての議案が可決された中であって、唯一、否決された議案がありました。

ご承知の事とは存じますが、「市長の給与の特例に関する条例」です。中身として、市長の給与を7月1日から20%削減し、その分を市民活動に支援するための基金に使うというものです。(今議会では、基金設置の条例案は出されませんでした。)私も議案質疑の中で市長に質疑をして疑問点を質しましたが、「市長給与20%削減した分をNPO等の団体に援助していきたいという内容」でした。市民活動の典型である自治会等への支出は想定していませんでした。なぜNPOにこだわるのか、謎のままです。

さて、そもそも**政治家が個人や団体への寄付をすることは公職選挙法に違反する行為(寄付行為の禁止)**です。3月定例会においても総務水道常任委員会の中で「削減分を原資として何かに充てるとなると問題になる」と担当職員から答弁がありました。今議会の中で市長は、自分が積み立てるわけではないので問題はないとしています。削減分を原資として事業に充ててを意図しているのは明らかです。**生活困窮者の救済や、高齢者福祉、子育て支援など他にもやらなければならないことが山ほどあるなかで、NPO等に特化した特定事業に削減分を充てるのは問題有りと考えます。また、どうしても市民活動支援をすると言うならば、自分の給与削減分を充てるという寄付まがいの手段ではなく、要綱を作り、予算化して実施すべきではないでしょうか。**

前代未聞 予算可決前に事業実施

議会では、**議会制民主主義を揺るがす前代未聞の出来事**も発生しました。

6月定例会で審議するはずの「市長キャラバン」予算ですが、審議前にも関わらず6月広報(6月1日発行)に事業実施の案内が掲載されていたことが判明し、市長・副市長が議会に対し行政手続きを誤ったことを陳謝する一幕がありました。

また、議会としても執行側(行政)に対し、予算に付帯意見を付け、**二度とこのような事のないよう求めました。**

付帯意見

予算案議決前にも関わらず、可決を前提として広報に事業実施の掲載をした。

本来、事業実施は議会にて議決を経た後に実施しなければならない。今回はその大原則を逸脱した大変重大な事件であるが、市民への影響を鑑み、以後、このような事のないよう求める。

平成27年度6月議会 安田真也 一般質問

今回の一般質問では、LGBT への理解を深める取り組み、小中学校へのエアコン設置を求めること、(仮称)第4中学校建設についての質問をさせていただきました。

LGBTへの理解

積極的に LGBT の理解を深めるよう取り組みを行うべきと考えるが。学校現場においても、文科省や県教育委員会から取り組みに関する通知があったが、どのように取り組むのか。

(答弁) 性同一性障害や性的嗜好への無理解と偏見の解消は重要であり、それぞれの生き方の違いを認め、尊重し合わなければならないと考えている。LGBTを含め、様々な人権問題への理解を深めるため、多様な機会を活用した人権啓発活動に努めていく。学校現場では、児童・生徒の発達段階に応じた人権教育を行うとともに、悩みや不安を抱える児童・生徒に対し、適切な支援をしていく。

小中学校へのエアコン設置

前市長は小中学校普通教室のエアコン設置について「子どもたちの健康への配慮や学習に集中できる環境を整備するために、普通教室へのエアコン設置に向けた調査・研究を進めていく」と答弁していたが、**今年度予算に関連予算が計上されていない。新市長**

の判断で設置しないという政策判断を行ったのか。

(答弁) 小中学校のエアコン設置の必要性は十分認識をしている。今後、保護者や教育委員、学校現場などの声を直接聞く中で判断していきたいと思っている。

(仮称) 第4中学校建設

新市長は第4中学校早期建設を訴えて当選された。建設について前市長は「今後の駅南地域の生徒数がどのように推移するかを慎重に見極めながら適切に判断していく」との答弁をし、教育委員会としても平成32年ごろを目途に建設することが望ましいとしていた。**新市長**

はリーフレットの中で「庁舎建設に大きなお金をかけるよりも、未来を担う子供達への教育環境の整備こそ最優先すべきです」と記載していた。建設時期の問題なのか、予算の問題なのか、その真意は。

(答弁) 50億を超える庁舎建設費を幾らかでも抑え、教育環境の整備に予算を充当すべきではないかということ。庁舎建設よりも中学校建設を優先させると言うことではない。建設に関しては駅南地域の児童・生徒数の推移を見ながら、早期に対応していきたい。

美南地域ではPTAの役員とされる方からのメールにて「中学校新設の件 現職(当時の市長):市庁舎建設後、人数の推移を見て決定。新人(新市長):市庁舎見直し、先に中学校建設」との情報が流れていたとの報告を市民の方からいただいた。リーフレットやこのようなメールを見た美南の人はどう思いますか。また、**PTAの政治活動は一般論として許されるのか。**

(答弁) 言葉をどうというのは大きな問題ではない。本質は、地域に住んでいる市民の方々にまで情報が伝わっていないこと。PTA活動については保護者と教職員による社会教育団体で、児童・生徒の健全な発達に寄与するということが目的なので、政治的中立、宗教的中立、営利目的ではないということは原則になっている。

平成32年に南中学校でのプレハブ対応が困難になる。**教育委員会としては過去の答弁(平成32年目途での建設)に変更はいいか。**

(答弁) 考えは変わっていない。

